

©2021映画『浜の朝日の嘘つきどもと』
制作委員会

会津大学、県立医科大学

公立大学法人中期目標
調査検討委員会

八月十日、第二回目となる公立大学法人中期目標調査検討委員会が開催されました。今回は、県立医科大学、会津大学と県庁を回線で結び、web会議システムを利用しての会議となりました。それぞれの大学から、現在の中期目標に対する取組などの経過について報告と説明を受け、それらに対する質疑と意見聴取を行います。

八月十日、第二回目となる公立大学法人中期目標調査検討委員会が開催されました。今回は、県立医科大学、会津大学と県庁を回線で結び、web会議システムを利用しての会議となりました。それぞれの大学から、現在の中期目標に対する取組などの経過について報告と説明を受け、それらに対する質疑と意見聴取を行います。



毎日のように「なりすまし詐欺」や「不審電話」などが県内版の新聞紙面にも報道されています。県警では、今年四月から「POLICEメールふくしま」の運用を開始しました。メールで配信される情報は、〇なりすまし詐欺情報（犯罪発生情報）（犯人の逃走手配等）〇不審者情報

〇地域安全（防犯）情報
〇交通安全情報（交通事故発生状況、交通障害情報等）
〇防災情報
〇お知らせ（イベント等）
私には特に、県庁までの往来があるので、交通安全情報が重宝しています。これらの情報は全て配信されるのではなく、必要なものを予め選択

空メールはこちらへ
↓↓↓



「POLICEメールふくしま」を「存じですか？」

して登録することができ、ますので、ぜひ活用ください。

方法は、登録用のアドレス（次ページ）に空メールを送信して、返信されてきた登録ページから案内に従って情報を入力するだけです。

9月の活動予定

- 【3日】公立大学法人中期目標調査検討委員会
- 【5日】自由民主党街頭演説会（神明通り）
- 【14日】議会運営委員会
- 【17日】企画環境部会、福祉公安部会、農林水産部会
- 【21日】9月定例会開会
- 【24日、30日】本会議（代表・一般質問）

新年度予算編成要望聴取会

わたしが所属する自由民主党議員会では、八月二十四日、二十五日の二日間、令和四年度当初予算編成に向け県内の各種団体の皆さまのご要望をお聴きする要望聴取会を開催いたしました。



一日目の企画環境部会では、県バス協会様、県タクシー協会様、全国運輸代行協会福島県支部様等の地域生活交通事業者の皆さまから、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い売上減となっている状況に対する支援やコロナ禍後の業務再開に向けての施策など幅広いご要望をお受けいたしました。また、二日目の福祉公安部会では、県医師会様、県薬剤師会様、県歯科医師会様、県整復師会様、県老人クラブ連合会様、県難病連様、県身体障がい者福祉協会様からは、コロナ禍の医療体制の拡充強化、エッセンシャルワーカーとしての取り扱い、日常生活への支援などに関するご要望を頂戴いたしました。来年度予算に反映できるよう執行部に対して提案を図ってまいります。

八十里こし抜け武士の越す峠



九月は、会津地方最大の祭り「会津まつり」の時期ですね。ただ今年も残念ながら、新型コロナウイルス感染症のため規模を縮小しての開催となり、毎年まつりに華を添えてくださるスペシャルゲストの綾瀬はるかさんも今年はご招待を断念されています。さてそんな時期にちなんで、冒頭の辞世の句を詠んだ「河井継之助」をご紹介します。継之助は長岡藩の軍師総督として藩軍を指揮、当時最新兵器であったガトリング砲を導入し、新政府軍と互角に渡り合うも戦いの最中に重傷を負い、「見聞塩沢地区で命を落とします。」

徳富蘇峰をして「西郷と大久保と木戸を足したより大きいとはいえないが、この三人を足して三分したより継之助の人物は大きかった」と言わしめるほどの人物で、司馬遼太郎の「峠」の主人公として描かれております。この「峠」は映画化され、来年公開の予定ですが、来年度は只見線の再開通、そして河井継之助が越えてきた新潟県と福島県を跨ぐ八十里越は、現在複数のトンネル工事を終え、利便性の高い道路となるための改良工事が着々と進められており、まさに越後を抜ける「越抜け」は間近となっています。

編集後記

今年の夏の高校野球全国大会決勝戦は、史上初の智弁対決で話題となりました。昨年は中止となり、その後も続くコロナ禍で思うような練習環境とはならない部活動、そして本来ならば全校あげての応援となるはずの観客席は閑散となるなか、選手の皆さんは自らを鼓舞しモチベーションを保つことさえも苦労したと思います。

私の母校の校歌に「難きを忍び、易に就かず、試練は神の恵みぞと、正しく強く朗らかにゆく、若き世代の誇りこそ」という歌詞があります。人は困難に直面した時こそ、その逆境さえも感謝の思いで、力強く人生を切り拓くため糧としていく姿勢が大事です。皆が皆、今できる精一杯のことをやる環境づくりに取り組んでいきたいと思ひます。